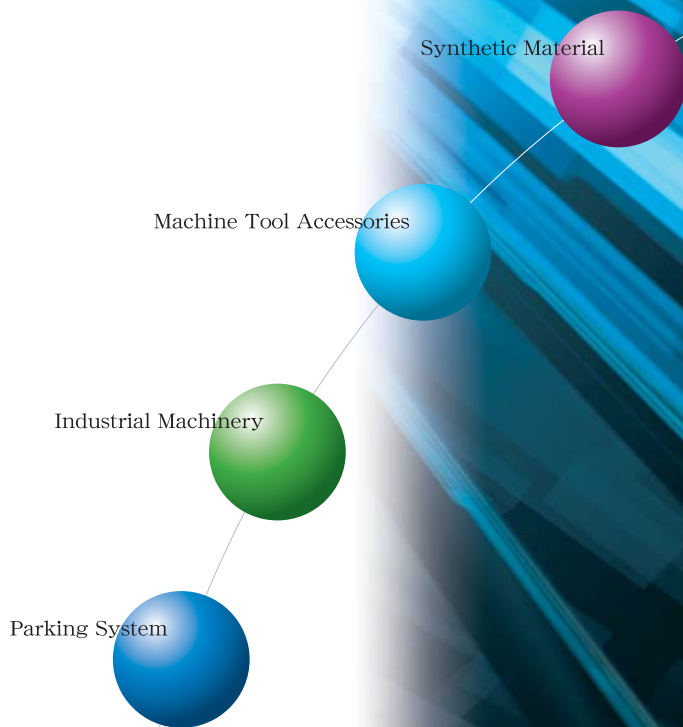


KITAGAWA

第99期 第2四半期報告書

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)



株式
会社

北川鉄工所

●株主のみなさまへ



代表取締役社長

北川 祐治

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成20年9月30日をもって第99期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）が終了いたしましたので、当第2四半期連結累計期間の事業の概況についてご報告申し上げます。

平成20年12月



●事業の概況

当第2四半期連結累計期間は、サブプライム問題に端を発した米国の金融危機が世界的な金融危機へと急速に広がり、これにともなう株価の下落、為替の変動が加速するなど先行き不透明感が増大し、予断を許さない状況で推移しました。日本経済にあってもその影響を受け、景気の減速傾向は一層強まり、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下において、当社グループでは販路拡大への継続的な取組として海外販売拠点の強化充実に努めるとともに、原材料費高騰に対応した販売価格の見直しを進め、収益の確保に努力してまいりましたものの、当第2四半期連結累計期間はグループ全体で、売上高 24,524百万円（前年同期比 4.2%減）、営業利益 581百万円（前年同期比 55.2%減）、経常利益 618百万円（前年同期比 59.0%減）、四半期純利益 124百万円（前年同期比 82.4%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格や鋼材などの原材料費が年初の水準まで戻る気配が見られる一方で、株価の低迷や為替の変動による市場の混乱が影響し、景気が低水準で推移するものと思われます。

このような情勢の中、当社グループは、全ての面において総点検を行い、経営全般にわたる効率化を迅速に推進するとともに支出管理を徹底的に行い効果的な事業運営を展開してまいります。

また、増強した生産能力を活かせるよう積極的な受注活動、海外販売ネットの拡充を引き続き推進いたしますとともに、成長分野への集中投資を行い、グループ企業の体質強化を図ります。そのためにも事業基盤となる職場力の強化や将来を担う自律した人材の育成に努めていく所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

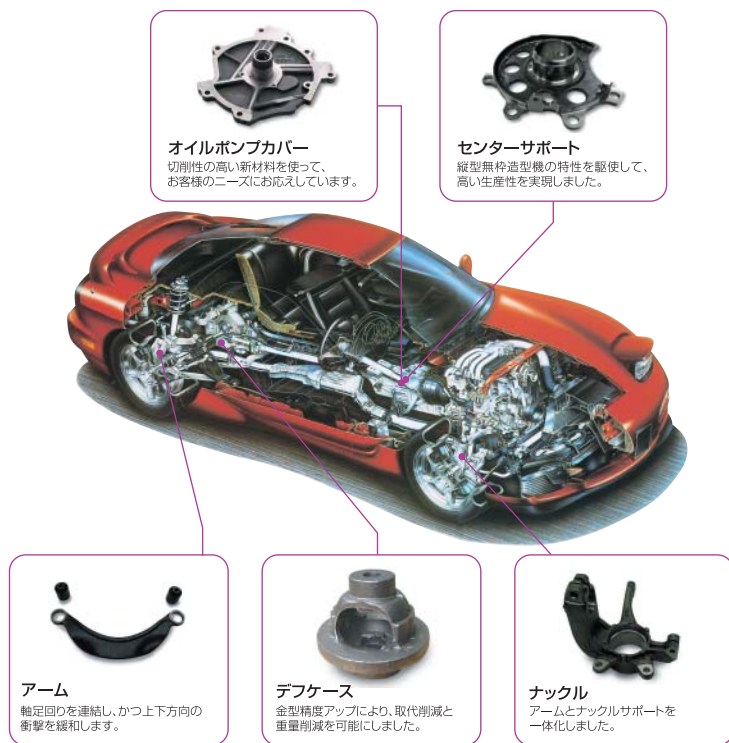
● 各事業の概況

金属素形材事業

サブプライム問題による米国の景気減速は世界的に広がり建設機械、農業機械関連部品の受注が大幅に減少いたしました。また、自動車関連部品につきましても原油価格高騰に加え、景気減速による実体経済への影響もあり、一部のミッション部品を除き受注は減少傾向にありましたが、売上については、東京工場の設備増強に対応した新規受注、また材料高に伴う価格改定などにより増収となりました。

収益状況については、主要材料等が高止まり状態にあり、また福山工場新設にともなう減価償却費負担増などにより、厳しい状況で推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 10,170百万円（前年同期比 9.7%増）、営業損失 282百万円（前年同期は営業利益 18百万円）となりました。



工機事業

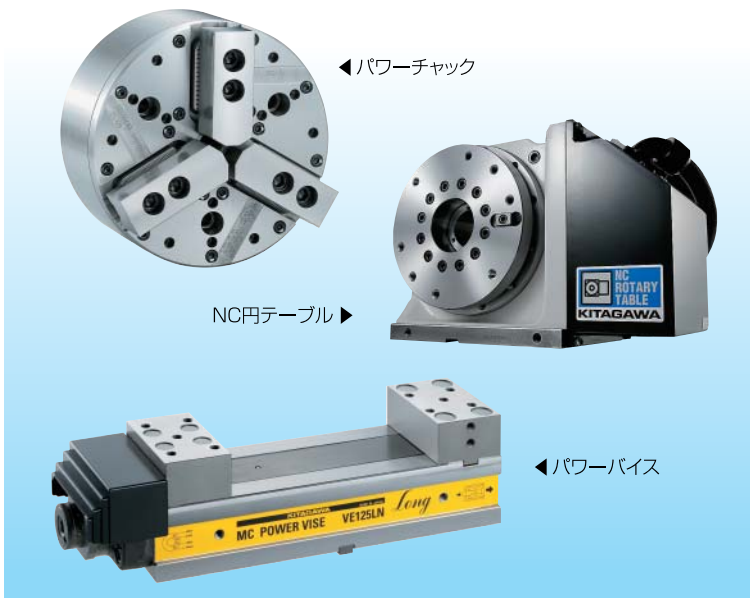
工作機械の市場環境は、高いレベルでの受注が続いておりましたが、世界経済の後退懸念に設備投資を見直す動きが広がっており国内・海外ともに景気後退局面が鮮明になったとみられております。

国内市場では原油・資材価格の高騰が製造業全般に設備投資を慎重にさせているほか、自動車も販売台数が減少する中、設備投資の調整局面が長期化しております。

また、海外市場も国内市場と同様であり、成長著しかった新興国においても減速傾向が顕著になっております。

こうした状況の中、NC旋盤への高い搭載率をもつ旋盤用パワーチャック、回転シリンダの販売が減少傾向に転じ、売上、収益面とも前期を下回ることとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 6,352百万円（前年同期比 5.1%減）、営業利益 978百万円（前年同期比 26.8%減）となりました。



● 各事業の概況

産業機械事業

土木建築業界および関連設備業界の市場環境は、公共投資の減少に加え、改正建築基準法の影響、直近の市況低迷で、設備投資の模様眺め傾向が一段と顕著になっており、厳しさが目立っております。

こうした状況の中、コンクリートプラント販売会社である連結子会社K&Kプラント株式会社は、メンテナンスサービスに注力し、改造工事や部品販売で受注の減少をカバーし、収益を維持しました。

環境関連設備は、産業廃棄物処理関連への販路拡大が伸び悩む中、原材料の効率使用やエネルギーの多様化に着目した製紙業、鉄鋼業への販路拡大に注力することで受注活動を活発化しました。

首都圏を中心としたビル建設用クレーンは再開発に伴う大型機械が好調でしたが、地方においては建築需要の落込みが目立ち、先行きに不透明感が残りました。

こうした状況の中、原材料の急激な値上がりや品不足による原価高騰が収益を圧迫いたしました。製品価格の見直し、調達が多様化、生産性の向上等の対策を集中的に実施することで収益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 4,688百万円（前年同期比 14.6%減）、営業利益 595百万円（前年同期比 2.4%増）となりました。



▲コンクリートプラント

モバイル型リサイクルプラント ▶
「ベレック」

駐車場事業

建築関連市場を取巻く事業環境は、建設会社やデベロッパーの破綻などで、集合住宅市況は低迷し、流通業界も衣料品を中心に低迷しており、鋼材価格の高止まりによる建築コスト高も含めて、新規投資に対する建築主の慎重さが目立つ状況にあります。改正建築基準法の影響は徐々に薄れつつあるものの、依然として厳しい経営環境が続きました。

こうした状況の中、当事業は鋼材価格上昇にともなう販売価格の見直し、工事進捗に重点をおいた生産・調達・施工方法の改善、徹底したコスト削減を行うことによって収益の向上に努めてまいりました。大型物件の完工があったものの市況の影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は 3,313百万円（前年同期比 19.9%減）、営業損失 42百万円（前年同期は営業利益 75百万円）となりました。



▲自走式立体駐車場



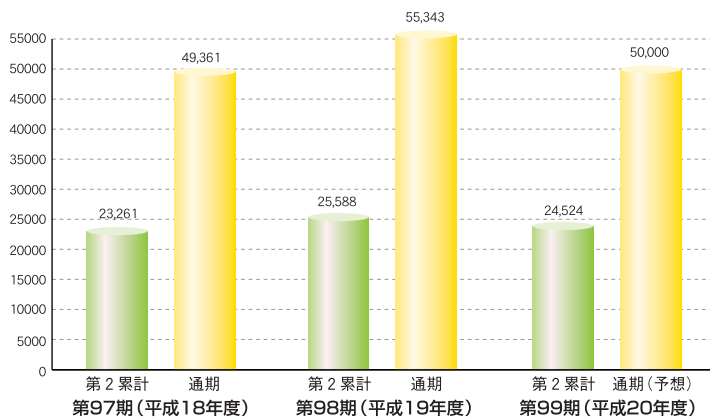
▲施設併用立体駐車場

● 決算の概要

● 売上高 (百万円)

第2累計

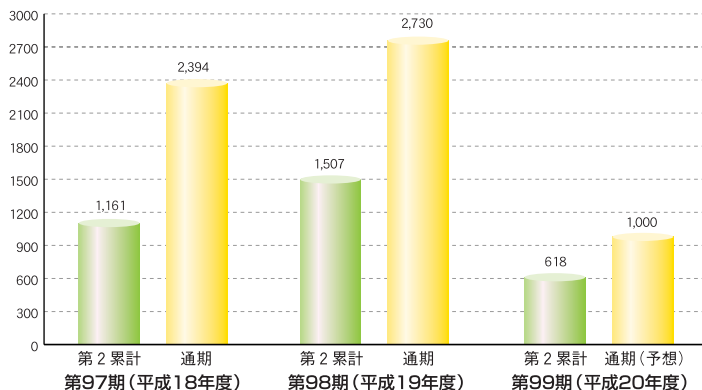
通 期



● 経常利益 (百万円)

第2累計

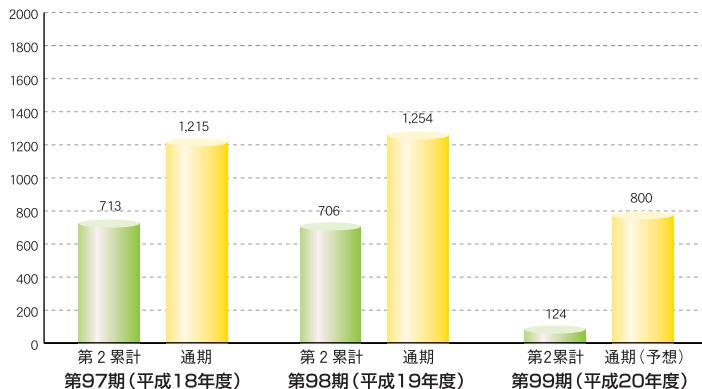
通 期



● 当期純利益 (百万円)

第2累計

通 期



● 第2四半期連結貸借対照表

区 分	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		区 分	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					(負債の部)				
流 動 資 産	34,148	59.8	32,774	60.0	流 動 負 債	21,353	37.3	19,763	36.2
現金及び預金	7,417		6,272		支払手形及び買掛金	11,680		11,263	
受取手形及び売掛金	19,219		17,183		短 期 借 入 金	3,566		3,914	
製 品	2,445		2,934		1年内返済予定の長期借入金	800		800	
原 材 料	1,077		1,364		未払法人税等	408		322	
仕 掛 品	3,256		4,357		賞与引当金	504		523	
貯 蔵 品	190		89		役員賞与引当金	67		—	
そ の 他	759		796		製品補償引当金	31		27	
貸倒引当金	△216		△224		厚生年金基金返還引当金	44		—	
固 定 資 産	23,002	40.2	21,835	40.0	そ の 他	4,251		2,910	
有形固定資産	18,479		17,533		固 定 負 債	11,699	20.5	11,912	21.8
機械装置及び運搬具(純額)	8,717		9,460		長 期 借 入 金	8,700		8,700	
その他(純額)	9,762		8,072		退職給付引当金	2,519		2,757	
無形固定資産	373		360		債務保証損失引当金	10		—	
投資その他の資産	4,149		3,942		訴訟損失引当金	50		50	
そ の 他	4,413		4,181		そ の 他	418		404	
投資評価引当金	△48		—		負 債 合 計	33,053	57.8	31,676	58.0
貸倒引当金	△215		△239		(純資産の部)				
					株 主 資 本	22,917	40.1	22,530	41.3
					資 本 金	8,640	15.1	8,640	15.8
					資 本 剰 余 金	5,090	8.9	5,090	9.3
					利 益 剰 余 金	9,283	16.3	8,905	16.3
					自 己 株 式	△96	△0.2	△105	△0.2
					評価・換算差額等	1,076	1.9	316	0.6
					その他有価証券評価差額金	285	0.5	57	0.1
					為替換算調整勘定	790	1.4	258	0.5
					少数株主持分	103	0.2	87	0.2
					純 資 産 合 計	24,097	42.2	22,933	42.0
資 産 合 計	57,150	100.0	54,609	100.0	負債純資産合計	57,150	100.0	54,609	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

● 第2四半期連結損益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日) (至平成19年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日) (至平成20年9月30日)	
区 分	金 額 (百万円)	百分比 (%)	金 額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	25,588	100.0	24,524	100.0
売上原価	21,070	82.3	20,846	85.0
売上総利益	4,518	17.7	3,677	14.9
販売費及び一般管理費	3,219	12.6	3,095	12.6
営業利益	1,298	5.1	581	2.3
営業外収益	343	1.3	225	0.9
受取利息及び配当金	52		67	
負ののれん償却額	87		—	
持分法による投資利益	71		35	
不動産賃貸料	31		—	
為替差益	24		—	
スクラップ売却益	—		54	
その他の他	76		67	
営業外費用	134	0.5	188	0.7
支払利息	116		114	
売上割引	12		—	
為替差損	—		56	
その他の他	4		17	
経常利益	1,507	5.9	618	2.5
特別利益	64	0.2	—	
固定資産売却益	64		—	
特別損失	230	0.9	266	1.0
固定資産売却損	39		—	
固定資産除却損	33		14	
関係会社整理損	66		—	
投資有価証券評価損	—		66	
出資金売却損	—		51	
貸倒損失	—		80	
債務保証損失	—		21	
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—		2	
厚生年金基金脱退損失	—		30	
製品補償損失	90		—	
税金等調整前四半期純利益	1,341	5.2	352	1.4
法人税、住民税及び事業税	545	2.1	286	1.1
法人税等調整額	95	0.3	△40	△0.2
法人税等合計			245	
少数株主利益	△5	△0.0	△16	△0.1
四半期純利益	706	2.8	124	0.5

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

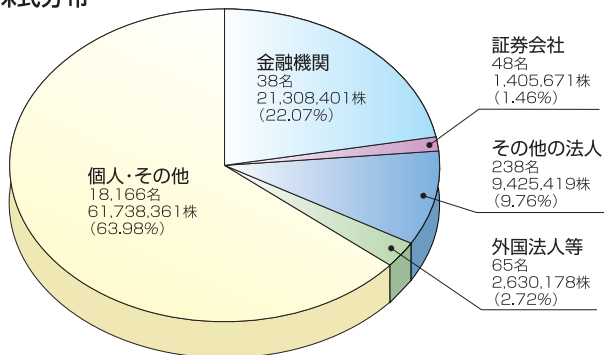
●株式の状況（平成20年9月30日現在）

発行可能株式総数 普通株式 308,000,000株

発行済株式総数 普通株式 96,508,030株

株主数 18,555名

株式分布



（注）その他の法人のなかには、証券保管振替機構名義の株式が8,300株含まれています。

大株主

株 主 名	持 株 数
株 式 会 社 広 島 銀 行	4,460 千株
北 川 鉄 工 所 み の り 会	3,557
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4G）	2,579
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,433
み ず ほ 信 託 銀 行 株 式 会 社	2,300
朝 日 生 命 保 険 相 互 会 社	1,713
株 式 会 社 損 害 保 険 ジ ャ パ ン	1,620
北 川 鉄 工 所 自 社 株 投 資 会	1,298
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,288
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	1,275

● 会社の概要 (平成20年9月30日現在)

設 立

昭和16年11月28日

資 本 金

86億 4 千万円

従業員数

1,000名

営業品目

金属素形材事業

生型機械鑄造・ロストワックス精密鑄造・消失模型鑄造・
金属粉末射出成型焼結の製法により製造する鑄物素材、
機械加工品・組立完成品（自動車部品、各種機械部品）

工機事業

- 旋盤用チャック
- 油圧回転シリンダ
- N C 円テーブル
- パワーバイス
- N C 旋盤

産業機械事業

- コンクリートプラント
- コンクリートミキサ（商品名：ジクロス等）
- 環境関連設備（商品名：ベレガイヤ等）
- リサイクルプラント（商品名：セレスター等）
- 建築用ジブクレーン（商品名：ビルマン）

駐車場事業

- 自走式立体駐車場（商品名：アスベル）
- ユニットハウス（商品名：ユニロック）

役 員（平成20年9月30日現在）

代表取締役会長	北 川 一 也
代表取締役社長	北 川 祐 治
代表取締役専務	北 川 宏
常務取締役	安 藤 攻
常務取締役	渡 辺 純 夫
取 締 役	福 永 喜久男
取 締 役	高 橋 正 義
取 締 役	北 川 日出夫
取 締 役	佐 藤 靖
取 締 役	神 田 芳 明
取 締 役	矢 田 正 美
取 締 役	小 川 民 益
常勤監査役	河 村 光 二
監 査 役	武 田 康 裕
監 査 役	内 田 雅 敏

会計監査人 あずさ監査法人

本 店

広島県府中市元町77番地の1

工 場

本社工場・本山工場・下川辺工場・中須工場・甲山工場・東京工場
和歌山工場・福山工場

支 店

仙台支店・東京事業所・東京支店・横浜支店・名古屋支店
大阪支店・広島支店・九州支店

営 業 所

札幌営業所・新潟営業所・四国営業所

海外駐在事務所

上海駐在事務所・シンガポール駐在事務所

●株主メモ

◎ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
◎ 定時株主総会	毎年6月	
◎ 定時株主総会の 基準日	3月31日 そのほか臨時に必要がある場合には、 あらかじめ公告いたします。	
◎ 配当金支払 基準日	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
◎ 単元株式数	1,000株	
◎ 株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	
◎ 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
◎ 郵便物送付及び 電話お問合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）	
◎ 同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店	
◎ 上場取引所	株式会社東京証券取引所（市場第1部）	
◎ 公告方法	電子公告（ホームページに掲載） アドレス http://www.kiw.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告が できない場合は、日本経済新聞に掲載してこれ を行います。	

●お知らせ

～株券電子化にともなう変更について～

平成21年1月より株券が電子化されることから、株式に関するお手続きに次のような変更がございますのでお知らせいたします。詳しくは、前ページ「電話お問合せ先」にお問合せください。

なお、証券会社等をご利用の場合は、引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。

《平成21年1月5日からの送付先などについて》

○郵便物送付先

〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

○特別口座管理機関取次所（現、株式名簿管理人取次所）

みずほ信託銀行株式会社全国各支店

みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

《株券電子化実施前後のお取扱について》

○ほふりに株券を預けられていない株主様は、以下の期間、各取扱業務の受付を停止させていただきます。

単元未満株式の買取請求 平成21年1月5日(月)～平成21年1月25日(日)
振替請求（特別口座から証券口座への振替請求）

平成21年1月5日(月)～平成21年1月25日(日)

※なお、平成20年12月25日(木)から平成20年12月30日(火)まで受付分の買取代金の支払は、平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

○ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の取扱停止期間が設けられます。詳細はお取引証券会社にご確認ください。

KITAGAWA



株式
会社

北川鉄工所

KITAGAWA IRON WORKS CO.,LTD.

〒726-8610 広島県府中市元町77-1

77-1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726-8610 Japan

TEL : 0847-45-4560(代)

FAX : 0847-45-0589

■ 支店

仙 台	仙台市若林区大和町4-15-13	〒984-0042	☎022-232-6732(代)	FAX : 022-232-6739
東 京	さいたま市北区吉野町1-405-1	〒331-9634	☎048-666-5650(代)	FAX : 048-663-4678
	東京都台東区元浅草2-6-6	〒111-0041	☎03-3844-7101(代)	FAX : 03-3844-7134
	東京日産台東ビル8階			
横 浜	横浜市港北区新横浜3-19-11	〒222-0033	☎045-476-5666(代)	FAX : 045-476-5667
	新横浜タウンビル9階			
名古屋	名古屋市中川区高畑1-238	〒454-0911	☎052-363-0371(代)	FAX : 052-362-0690
	エスパアンビル4階			
大 阪	大阪市住之江区北加賀屋3-2-9	〒559-0011	☎06-6685-9065(代)	FAX : 06-6684-2025
広 島	広島市南区東雲本町2-13-21	〒734-0023	☎082-283-5133(代)	FAX : 082-285-8830
九 州	福岡市博多区板付7-6-39	〒812-0888	☎092-501-2102(代)	FAX : 092-501-2103

インターネット上で、いつでも最新のキタガワ情報をご覧いただけます

[http:// www.kiw.co.jp /](http://www.kiw.co.jp/)